



開かれた議会・町民参加の議会を目指して

羽幌町議会議長 村田 定人

新年明けましておめでとうございます。令和6年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃より議会活動に対し深いご理解並びに温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。本町議会は、昨年4月の統一地方選で皆様の付託を受けた議員11名により、5月の初議会から活動をスタートいたしました。

昨年を顧みますと、新型コロナウイルス感染症の分類が5月8日、季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられ、2020年1月に国内で感染者が確認されたから3年あまりを経て、様々な行動制限等が撤廃され、経済活動の活性化による景気回復に誰しもが期待を寄せているところです。

一方、スポーツでも世界中を沸かせる大きなニュースがありました。「ワールド・ベースボール・クラシック」(WBC)で「侍ジャパン」が優勝し、

国民に大きな歓びと感動を与えました。北海道内においても、北海道日本ハムファイターズの本拠地である新球場「エスコンフィールド北海道」が完成し、周辺施設を含め、野球のみならず地域経済活性化の拠点施設として大きな期待が寄せられています。

このような中、本町では4年ぶりに神社例大祭でのみこしや、加賀獅子などの練り歩きが完全復活し、沿道や神社境内がたくさんの観客で埋め尽くされ、多くの歓声が上がリ、町内に活気が戻ってきたと実感したところです。また、長年の懸案事項であった、焼尻めん羊牧場が民間会社へ譲渡され存続されることになり、今後の地域産業活性化に期待が高まります。

基幹産業である農業では、8月中旬の強風により水稲の倒伏が発生しましたが、収量は平年並みとなりました。漁業では、えびやほたて、たこ等の漁獲量が増えているほか、一部魚価の

上昇により水揚げ金額は増加しました。農業、漁業とも燃油高騰など厳しい情勢ではありますが、本年は豊作・豊漁の希望が持てる年となるよう願っております。

商工業では、依然として厳しい状況にありますことから、各産業の経営安定と景気向上に向けた取組みはもちろんのこと、時代に即した観光事業のあり方も模索してまいります。

さて、議会議員は住民の直接選挙で選出された二元代表制の一翼を担う立場であります。昨年、議会改選後より新たに「公共事業等調査研究特別委員会」を設置し、懸案事項である大型公共事業等のあり方について、意見交換を行ってまいりました。

引き続き本年も議論を進め、事業提案を行うなど積極的に取り組んでいきます。重要課題であります医療体制の充実においても、「医療問題調査研究特別委員会」を中心に、引き続き関係機関に対し要請等を行ってまいります。更に、本年は新たな取組みとして、

議会本会議での議員一般質問を、時間に制限されることなく町民の皆様方に視聴いただける機会を提供するため、インターネットを活用した録画配信を3月定例会より開始する予定です。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で自粛を余儀なくされていた、議員全員による町民との意見交換会を再開し、皆様の声を町政に反映させていきたいと考えております。

議会としては、「開かれた議会」、「町民参加の議会」を目指し、本年も議会改革を進め、期待される議会となるよう議員一同努力してまいります。新しい年が、皆様にとって健康で喜びと幸せに満ちた一年でありますようお願い申し上げます。